

ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKU ROTARY CLUB WEEKLY



広島空港ロータリークラブ週報

会長 松本邦雄 / 副会長 橋濱智美 / 幹事 佐々木正親 / SAA 鶴田秀樹

2016年11月9日発行

事務所 〒729-0417 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会内2F

TEL 0848-86-0986・FAX 0848-86-0992・E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp・http://hiroshima-kuko-rotary.jp/

例会場 〒729-0416 三原市本郷町善入寺64-25 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111 FAX 0848-86-9222

NOV 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 休会 公式訪問 例会 休会 例会

本日のプログラム (11月9日)

国際ロータリー第2710地区
 田原榮一ガバナー 公式訪問

次回のプログラム (11月16日)

国際ロータリー第2710地区
 地区大会報告

第1049回 2016年10月26日 安保ガバナー補佐ブレ公式訪問例会記録

点 鐘…松本会長

ソング…「君が代」「奉仕の理想」

ご 紹 介



ガバナー補佐 安保雅文様 (尾道RC)
 ガバナー補佐幹事 藤本政昭様 (尾道RC)

ビジター紹介

(西 条)要源光司さん

出 席 報 告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本 日 (10/26)	26 1	24 1	1	1	96.15
メイク	乗越				
前々回 (10/12)	26 1	21	2	3	88.46
メイク	鶴田幸彦・灰谷				

米山奨学生 黄 琳娜さん



10月分奨学金をお渡ししました。

近況報告

今週の火曜日まで卒論の中間発表は終わりました。大変緊張しましたが、先生たちに厳しい質問されなかったので一安心です。これからは本番の卒論の作業に入ります。良い卒業論文をかけるように頑張ります。

琳娜さんへお誕生日プレゼント

橋濱さんが選んでくださったブレスレットとバレッタ



食 事 時 間

MENU

レンコンチップと野菜のサラダ胡麻ドレッシング
 サツマイモのクリームスープ
 白身魚の粒マスタード 香草パン粉焼きトマトソース
 パン・コーヒー



会 長 時 間

皆さん本日は2016～2017年度G9ガバナー補佐安保雅文様、補佐幹事藤本様をお迎えしてのプレ公式訪問の日です。ガバナー補佐様幹事様お忙しい中おいでいただきありがとうございます。



先ほど別室で安保ガバナー補佐様藤本幹事を囲んで会長幹事会を行いました。当クラブの実情・計画・行動・11月9日2710地区田原ガバナー公式訪問の打ち合わせ等いたしました。後程安保様には卓話を頂戴することとなっております。若い会員の皆様方には今日一日しっかり勉強をしていただき公式訪問にも参加して今後の奉仕活動に役立てていただきたいと思っております。

会員の皆様には先日本郷町の商工祭りでの広島県立総合技術高校の協力をいただいてポリオ募金、チャリティーバザー大変ご苦労様でした。予想以上の募金が集まり大変ありがとうございました。

幹 事 報 告

《配布物》週報1047.1048号
プレ公式訪問プログラム
地区大会参加者名簿
《回 覧》公式訪問出欠表

卓 話 時 間



国際ロータリー第2710地区
G9 ガバナー補佐
安 保 雅 文 様

皆さんこんにちは。G9のガバナー補佐を仰せつかっております尾道ロータリークラブの安保雅文です。広島空港RCには8月31日に訪問をさせていただいた折には大変お世話になりました。今日で5回目のプレ公式訪問に成ります。尾道東と瀬戸田と三原と尾道が終わったのですが、瀬戸田はメンバーが6名で、実質4名しか出席されていません。なかなか難しい状況を抱えているわけですが、一生懸命トライしておられます。何か支援ができたらとつくづく感じたところで。

ガバナー補佐が決まったのが昨年8月末でしたからすでに一年が過ぎてしまいました。昨年の9月からガバナー補佐研修が始まり、その後ガバナー補佐会議が数回あり、それに加えて、RLIのディスカッションリーダーの研修が2回、そしてRLI本番が1月、3月、6月と3回ありました。そのほかにもPETS、地区

協議会と続き、やっと7月から本番に突入したわけですが、あっという間に過ぎてしまいました。この一年で感じたことは、RCに入会して24年が経つわけですが、いかに適度にロータリー活動をしていたかということです。ガバナー補佐が決まると、ガバナー補佐の手引き書というのが渡されます。ガバナー補佐の手引き書には、補佐としての役割と責務が数多く載っています。主な役割は「担当するクラブが効果的に運営されるようサポートすることである」とあります。また、責務として手引き書には20ほどの責務が記されています。その中の一つに補佐は少なくとも四半期に一度はクラブを訪問することとあります。その目的はRIや地区の重要な方針を伝えることや、クラブが目標を達成するために適切なお手伝いをするということです。今回は2度目の訪問ですが、前は挨拶だけでしたので、余りお話しができませんでしたが、今回はガバナー補佐の責務を果たさなければいけないわけです。

広島空港RCの活動計画書を拝見しました。RI会長賞、ガバナー賞を多数受賞されており、創立以来、素晴らしい活動をされてこられたと感じております。また、地区補助金を利用した活動も活発にされており、私にとっても学ぶところが多いクラブだと思っております。

プレ公式訪問の大きな目的でもあります。RIについてお話しさせていただきます。ご存じのように本年度の会長はアメリカのテネシー州チャタヌーガロータリークラブのジョン・ジャーム会長です。そしてテーマは「人類に奉仕するロータリー」という、ある意味では当たり前なことであり、ロータリーの原点です。ここでこのような直球を投げかけてくることが、ジョン・ジャーム会長の並々ならぬ意気込みを感じるわけです。ジョン・ジャーム会長は77歳ですが、彼の経歴をみると人生の大半を地域への奉仕に向けてこられたことがわかります。若い頃は青年会議所で活躍され、ロータリーではロータリー財団との関わり合いが強く、伝説的な募金の達人とも呼ばれているようです。財団と言えはポリオプラスですが、皆様もご存じのように、ポリオ撲滅に向けて2007年にビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から1億ドルの寄付を受けました。そして、2009年にはさらに2億5500万ドルの寄付を受けたわけです。しかし、これに関しては条件がありました。それは、2012年6月30日までにロータリー財団が2億ドルの募金を集めなければならなかったのです。その指揮を執ったのが、ジョン・ジャーム会長だったのです。彼は「ロータリーの2億ドルチャレンジ委員会」の委員長として、2012年1月にはその目標を達成したのです。そして、予定より半年も早く達成したことで、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団はさらに

5500 万ドルを寄付してくれました。そして、2015 年には天然ポリオウィルスによるポリオ発症例はわずか 74 件にとどまり、すべてアフガニスタンとパキスタンで確認されています。ポリオ撲滅もすでに秒読みの段階に入っています。その道のりは 30 年にわたり、ロータリー財団、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団をはじめとする民間団体、そしてユニセフ、WHO、世界各国の政府の努力の賜です。この事業には膨大な資金が必要で、すでに 100 億ドル近い資金が積み込まれています。そして、ポリオを根絶するまで、これから年間 7 億ドルが必要だと言われています。現在の目標は 2016 年にウィルスの伝搬を留めることにより、2019 年に世界のポリオ根絶を認定できるようにすることです。ただ、この最後の一押しが困難を極めています。発症している地域が紛争地域であり、ワクチン投与も命がけです。それに、今年に入り 2 年間発症のなかったナイジェリアで 3 人発症が確認されました。10 月 18 日現在パキスタンで 15 例、アフガニスタンで 8 例、ナイジェリアで 4 例の 27 例の確認があります。それでも昨年に比べかなり減少しています。もう少しです。これからも皆様のご支援をよろしく願います。

本年度はロータリー財団 100 周年と言うこともあり、ジョン・ジャーム会長は世界各地で財団 100 周年に向けて、この偉業を多くの人たちに知ってもらうためのイベントを企画してほしいと言っておられます。ポリオプラスほど大規模な運動で活躍した非政府組織は他にありません。それは、世界でこれまでに類を見ないほど壮大な人道的奉仕であるといえるでしょう。この功績は、一人ひとりのロータリアンが誇りとすることができるものです。私たちが成し遂げたことを知ってもらうことで、ロータリーの将来にとって多くの可能性が広がってくると思っております。

RI に関しては、もう一つ大きな変化がありました。3 年に一度の規制審議会が今年の 4 月に開催され、クラブの管理、運営に関して、大幅な変更が承認されました。まず例会ですですが、運営方法に関する制約をなくすという制定案を圧倒的多数で採択しました。まず例会の曜日と時間を自由に決めることができるようになり、例会は月 2 回以上開けば良いと言う事です。

また、奉仕プロジェクトや社交行事を例会と見なすことができるようになりました。またオンラインでの例会も認められました。そして、会員の種類についても、今までは正会員と名誉会員のみでしたが、クラブは、地域のニーズに合わせて準会員や法人会員、家族会員など追加できるようになりました。たとえば正会員は今まで通りの会費を支払いますが、準会員あるいは家族会員などは RI の人頭分担金と必要経費のみで良いとか、いろいろ柔軟性が増したと言えます。

また、RI 細則とクラブ定款から「入会金」という言葉が削除されました。つまり新入会員から入会金を取らなくても良いということです。そのほかにも多くのことが採択されましたが、これは各クラブの裁量に任せると言うことで、強制ではありません。つまり、それぞれのクラブは自分たちのクラブにあった細則を自由に決めることができるということです。当然今まで通りの運営をされるクラブはそうしていただければ良いのです。ただ、会員減少に悩んでいるクラブが多い中、うまく活用することによってクラブの活性化を図れるきっかけになるかもしれません。これは、クラブに自主性と柔軟性と多様性を持たせるという意味では画期的な決定だと思っています。広島空港 RC の中でも議論を重ねて頂き、より良いクラブを作り上げて頂きたいと思っております。

2710 地区ですが、ご存じのように、本年度は広島中央 RC より田原栄一ガバナーが出ております。田原ガバナーは今年 80 歳に成られましたが、とても 80 歳には見えないほどお元気で、精力的にガバナーの職務を果たされておられます。広島大学医学部を卒業され、人生の大半をがんの研究に捧げられた方です。現在は公益財団法人広島がんセミナーの理事長を務められておられます。ロータリーには 1981 年に入会され、2002 年-2003 年度に会長、2008 年-2009 年度にガバナー補佐を歴任されておられます。

田原ガバナーのガバナー信条は「奉仕の中にこそ幸福（幸せ）と平和がある」です。ここに上げた奉仕は職業奉仕であり、意図するところは二つあると言っています。その一つは、職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、人類の最大の敵であるがんの予防推進です。

前者の職業奉仕の実践には、二つの行動指針が必要だと言っています。一つは「ロータリアンの行動規範」の遵法、もう一つは「四つのテスト」を職業生活のみならず日常の生活すべてに言行することだと言っておられます。ガバナーは例会場に四つのテストだけでなく、ロータリアンの行動規範の掲げ、唱和をしてほしいと言っています。ガバナー公式訪問においては、是非とも「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の唱和をして頂きたいと思っております。

後者のがん予防推進ですが、がんの権威でもある田原ガバナーの思いが前面に出た事業になっており地区戦略計画として本年度より 3 年間地区、クラブ、地域社会で実践していくことになりました。私もガバナー補佐が決まって、研修を受けるたびにがん予防についての話が中心になり、私なりに勉強もしてきました。当然専門家ではないので詳しいことはわかりませんが、がんになるメカニズムがわかれば、いかに予防したら良いかわかるのではないかと考えたのです。そこでとてもわかりやすい説明を見つけました。

人間の体は細胞でできているのはご存じだと思いますが、いくつかの細部からできているかわかりますか。なんと 60 兆個だそうです。そして、この細胞は新陳代謝で定期的に入れ替わっていくのです。これは前の細胞と同じ物がコピーされて入れ替わるわけです。そのサイクルは概ね、90 日から 120 日と言われています。5 年ぐらい経つとすべての細胞が入れ替わるわけです。ところが 60 兆個もあるとたまにミスコピーが起きることがあります。これが、実はがんの始まりだそうです。このミスコピーはまれに起きるのではなく、毎日私たちの体の中で起こっているのです。それも 1 日 1000 個から 2000 個のがん細胞ができています。本来なら私たちは全員がんになってもおかしくないのですが、そうはならないのです。なぜかという私たちの体の中にはミスコピーされた細胞をシュレッダーにかけ消去させる機能があるのです。それがリンパ球と呼ばれる白血球の一種だそうです。それはかなり性能が良く、ほぼ完璧に消去していきます。もし一つでもミスコピーが残っていったらその一つの細胞が分裂を繰り返し、どんどん大きくなっていきます。約 10 億個で直径が 1 cm、重さが 1 g に成るそうです。そこでやっとなレントゲンなどでがんが見つかるわけです。そこまで成長するのに 10 年から 15 年かかるそうです。では、なぜミスコピーの細胞が残ってしまうのでしょうか。それは、一つはミスコピーがたくさんできすぎってしまったとき、もう一つはシュレッダーの性能が落ちたときです。皆さんも「〇〇には、発がん性がある」というのはよく聞かれると思いますが、たとえば食品であったり、喫煙であったり、今はあまりなくなりましたがアスベストであったり、放射線であったりするわけです。それに遺伝もあると言われています。こうしたことがミスコピーを増やす原因となっていると言われています。また「免疫力が下がるとがんになる」とも言われますが、これはシュレッダーの性能が落ちていくということです。年を取ると免疫力が落ちてくるので、がんになる確率が上がるわけです。また、不規則な食事や生活をしていても免疫力は下がってくると言われています。こういったことを考えると、人間だれでもがんになる可能性があるわけで、できるだけミスコピーを作らない、またシュレッダーの性能を落とさないような生活をするのが予防につながるわけです。

3 年間がん予防を推進する上で、4 つの目標を掲げていますので目標に向けてご協力をお願いします。

- ①生活習慣を改善することによるがん一次予防。
- ②がん検診受診率の向上によるがん二次予防。
- ③がん患者の就労に関する環境整備。
- ④青少年に対するがん教育の推進。

本年度の IM ですが、来年の 3 月 5 日(日)に開催します。実行委員長の岡野吉右衛門さんの強い意向で、瀬戸田のベルカントホールで開催することになりました。実は本年度は瀬戸田 RC がガバナー補佐を出す順番だったのですが、メンバーが少なく、出せないと言うことで繰り上げて尾道から私が出たわけです。岡野実行委員長から、是非瀬戸田と一緒にやりたいとの申し出があり、決定させていただいた次第です。もちろんがん予防の推進がメインテーマですが、せっかくベルカントホールでやるのであれば、一般の市民も参加してもらいコンサートもしたいと言うことで、盛りだくさんの企画が上がってきております。

第 1 部は地区がん予防推進委員会のグループ 9 担当委員である松尾先生のご子息で、愛知県がんセンター研究所、遺伝子医療研究部部長の松尾先生に基調講演をして頂き、第 2 部は立川流の落語家であり、医学博士でもある立川らく朝師匠を招いて、健康落語を聞いていただきます。そして第 3 部は高嶋ちさ子さんによるバイオリンコンサートを予定しております。是非とも多数のご参加をお願い致します。

最後にもう一つお願いがあります。皆さんもすでにご存じだと思いますが、尾道 RC から吉原久司ガバナーノミニーを出しています。尾道 RC としては 1980 年-81 年度に八木ガバナーを出して以来すでに 35 年が過ぎています。2013 年に 60 周年を終えたあと、尾道 RC の今後を考える長期ビジョン策定特別委員会を立ち上げ、これからのビジョンを考える中で、ガバナーを出せるクラブにしようと、2 年間研修を重ねモチベーションを上げてきました。おかげさまでガバナーを出すところまで来たのですが、これからが大変です。尾道だけでは到底やり遂げることはできません。近隣クラブのご支援は欠かせないと思っております。お願いばかりですが、これから 3 年間、吉原ガバナーが素晴らしい実績を残せるように全力でサポートしていくつもりです。どうか広島空港ロータリークラブの皆さんのご支援並びにご指導をよろしくお願い致します。

クラブ協議会(13:40~14:15)

自己紹介・委員会報告・公式訪問打合せ

